

ワールドハンディキャップシステム 概要について

新システムの主な特徴：
世界中のゴルファーが
ゲームを楽しめるようになります。



プレーイングHDCP –
競技方法に応じてプレー
に使用するHDCPを換算



新システムになっても、
ゴルファーはコースに出たら
ラウンドを楽しむだけ –
いままで通り変わりません

スコアの提出 –
ラウンド後直ちに提出し
リアルタイムでHDCPを更新



**異常なコースコンディ
ションと気象条件によ
る調整** –
すべてのコンディショ
ンにおけるパフォーマ
ンスを示す



**コースレーティング・
スロープレーティング** –
世界共通のレーティング、
HDCPの持ち運びが可能



**最小限のスコア枚数で
HDCPが取得可能** –
より多くのゴルファーを
迎え入れ、HDCPを取得
できるようにする



**ハンディキャップ査定に
採用できるスコア** –
プレーヤーの潜在技量を裏
付ける証拠を数多く提供す
ることにより、近代的で適
応性のあるHDCPを実現



**ホールスコア上限は
ネットダブルボギー** –
すべてのゴルファーの公
正性を目的としたストロ
ークコントロール



基本的なHDCP計算 –
良いスコアを反映し易く
し、プレーヤーの潜在技
量をより正確に示す



「ワールドハンディキャップシステム概要について」解説

本資料は、WHS 導入によってゴルフのプレー方法が変わることがないことを示すとともに、新システムの主な特徴について紹介しています。

コースイラストの上には（紺色のボックス内）、ゴルファーが知っておくべき下記 3 つのポイントが示されています。

- ラウンド開始前に、競技方法に応じてその日使用するプレーイングハンディキャップを決定（換算）する。
- コース上では、いままでと変わらずラウンドを楽しむ。
- ラウンド終了後、できるだけ速やかにスコアを提出する。

コースイラストの下には、WHS に組み込まれた主な特徴が紹介されています。これらは、ハンディキャップの管理・運用に関わる内容であり、ゴルファーがラウンド時に注意する必要はありません。

以下、主な特徴に関する説明：

コースレーティング・スロープレーティング

現在世界 80 ヶ国以上で採用されている USGA コースレーティングシステムは、そのまま WHS に組み込まれ使用されます。

最小限のスコア枚数でハンディキャップが取得可能

より多くのプレーヤーにハンディキャップを取得してもらうようにするために、ナショナル協会はハンディキャップ取得に必要な最少スコア枚数を設定することができます（54 ホール以上推奨）。

ハンディキャップ査定に採用できるスコア

ストロークプレーのシングル競技とステーブルフォード競技は、すべてのプレーヤーがスコアを提出しなければなりません。それ以外の競技方法については、ナショナル協会は管轄地域内において、スコアを提出して自らの潜在技量を証明する十分な機会をプレーヤーに与えられるように、ハンディキャップ査定に採用できる競技方法を選択することができます。公平性を確保するため、頻繁にプレーされる競技方法ではハンディキャップアローワンスを適用することを勧めます。

ホールスコア上限はネットダブルボギー

たまたま大叩きをしてしまったホールがあり、それがプレーヤーの潜在技量を反映していない時は、提出するスコアに制限を加えます。但し、これはハンディキャップ査定用のスコア提出に限ります。

基本的なハンディキャップ計算

最新スコア 20 枚中 8 枚の平均でハンディキャップを計算することにより、プレーヤーの潜在技量をより正確に示すことができます。これに、過去に証明された技量の履歴を組み込むことにより、より正確な技量反映と過度の数値変動防止が可能となります。プレーヤーが一時的に調子を落とした場合でも、過度のハンディキャップ増加には繋がりません。プレーヤーのハンディキャップを管理・監督することは、WHS の基礎となります。プレーヤーのハンディキャップは、常に本人の潜在技量を示しているかどうかを確認するために定期的に検証を受けます。

9 ホールスコアと 18 ホールスコア

ナショナル協会が選択すれば、9 ホールスコアと 18 ホールスコアのいずれもハンディキャップ査定に採用することができます。

異常なコースコンディションと気象条件

プレー当日のコースコンディションと気象条件が、プレーヤーのパフォーマンスに与える影響を考慮します。